

# 青少年赤十字 3つの実践目標

## 健康・安全

自分や家族、友達のいのちと健康を大切にすることを養い、進んで安全に配慮し、健康を増進するための生活習慣を身につけます。

## 奉仕

集団生活の中の一人として社会的な責任を自覚し、まわりの人のために奉仕する心と実行力を養います。

## 国際理解・親善

広く世界の子供たちのことを知り、仲良く助け合う精神を養う

現在の私たちの生活は、国際的な関わりを抜きにしては考えられません。お互いに相手を正しく理解し、交流を深めていき、真の意味の親善を確立することが必要です。また、外国のことを知ることは、自国についても改めて考えるようになり、また自分自身を知ることに繋がります。



# このような活動を行っています

## ネパール



トイレなどの衛生設備を、年齢、障害、男女などに優しい状態に改善します



石鹸での手洗い方法を学びます



月経衛生管理について学び、女性の月経のしくみを学んだり布ナプキンなどを作成します

## バヌアツ



防災・減災の教材を開発、カリキュラムに組み込みます



国の教師養成学校において、防災減災ツールを開発、活用します



避難訓練や救急法を実施します

日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部  
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3  
TEL 03-3437-7083 FAX 03-3432-5507

一人ひとりの優しさが  
命を救う大きな支援へ



人間を救うのは、人間だ。  
Together for humanity

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



# 青少年赤十字海外支援事業

## 概要

青少年赤十字の実践目標のひとつ「国際理解・親善」の一環として、青少年赤十字メンバーが集めた青少年赤十字活動資金（通称：1円玉募金）を財源の一部として実施される海外への支援事業。



ヒマラヤ山脈を有する山岳国ネパールと、南太平洋の島嶼国バヌアツを対象に、令和2年度から第2次3カ年計画がスタートしました。両国の赤十字社を通じて、衛生教育や施設・環境の改善、防災教育の普及を進めます。日本の子どもたちの想いを、世界の子どもたちの笑顔につなげます。



## ネパールへ



日本にいる青少年赤十字メンバーがお小遣いを節約したり、募金活動をして集めたお金を日本赤十字社を通じてネパールとバヌアツの赤十字社へ送金します。

## バヌアツへ



日本から受け取った募金をもとに現地の赤十字スタッフが学校や地域の人々と話し合い、学校や地域に本当に必要な支援を考えます。手洗い場の整備やトイレなどの改善に使われます。



日本から受け取った募金をもとに現地の赤十字スタッフが政府や学校と話し合い、学校で使える防災教材を作成。



活動は、トイレの正しい使い方や手洗いの大切さなどの知識を学ぶことに重点を置いています。知識を普及することで、正しい実践が根付くことを期待しています。



授業の中で災害について学び、命の守り方についての理解を深めるだけでなく、避難訓練などを通じて実践的に防災について学びます。



学んだ知識は、子供たちの家族や地域の人たちにも伝えられます。子供たちから地域の人たちに衛生に関する正しい知識が伝わることで、その地域一帯の衛生環境が整い、下痢症の発生率の減少等につながります。



防災学習がカリキュラムに正式に組み込まれることで、知識の広がりを確実にし、また学んだ知識を子供たちから家族、地域に広げ、バヌアツに住む多くの人たちが災害に対する共通認識をもてるようにします。